

# 令和5年度 第1回学校運営協議会 報告

静岡県立静岡農業高等学校

## 1 開催日時

令和5年6月9日（金）13時30分から15時30分

## 2 開催場所

静岡県立静岡農業高等学校 会議室

## 3 出席者

- (1) 学校運営協議員 5名
- (2) 学校教職員 10名（うち2名代理出席、1名欠席）

## 4 次第

- (1) 開 会
- (2) 学校運営協議員委嘱
- (3) 自己紹介
- (4) 校内見学
  - ・校内の授業の参観及び農場、施設等の見学
- (5) 校長挨拶並びに学校経営計画説明
- (6) 各課の指導方針、その取組
  - ア 教務課
    - (ア) 基礎学力の向上と進路実現を目指すため、学年、教科と連携し全学年で、4月と9月、1月の年間3回で課題テストを実施する。
    - (イ) 「3年間の学習シラバス」、「資格・検定ガイド」の作成による情報の提供。
    - (ロ) 欠席・遅刻の減少を目指し、生徒課、学年等と連携を図っている。
    - (ハ) 放送委員会との連携や掲示物による定期試験に向けて学習意欲の喚起を図っている。
    - (ニ) 漢字テストを年7回、英単語と計算力テストを年6回実施。
    - (ホ) 成績処理システムによる成績処理、指導登録の作成。
    - (ヘ) R4 施行の学習指導要領の対応を継続して行う。各教科や科目における新しい学習評価方法の定着を推進し、改善すべき点を検討する。
    - (ニ) 採点支援システム「百問繚乱」の活用を検討し、導入を推進する。
  - イ 生徒課
    - (ア) 人を思いやり、心豊かで人間性に溢れ、自律した人物を育成する。
    - (イ) 規範意識を持ち、社会的資質や行動力を備えた人物を育成する。
    - (ロ) 学校生活が生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになるよう支援する。
  - ウ 進路課
    - (ア) 生徒の進路希望実現を目指す、進路指導體制の体系化を確立する。
    - (イ) 生徒自身の適性把握と職業観の育成。
    - (ロ) 進路課、学年、学系、教科の連携を深め、組織的な進路指導を実施する。
    - (ハ) 生徒個別の進路指導を実施し、将来を見据えた進路選択能力の育成。
    - (ニ) 基礎学力、自己表現能力、コミュニケーション能力並びに積極性を身につけるための具体的な指導方法及び体制を確立する。
    - (ホ) 進路シラバスの試験運用。
    - (ヘ) 今年度の進路状況と昨年度の進路結果の説明。
  - エ 保健課
    - (ア) 各種健康診断・身体計測の円滑な実施と事後指導を行う。
    - (イ) 食習慣及び生活習慣改善事業に取り組む。（朝食摂取率97%以上を達成する）
    - (ロ) 薬物乱用防止教育に取り組む。
    - (ハ) 校内美化の推進を行う。

(ハ)朝SHRでの健康観察を推進する。(新型コロナウイルス対策)

(カ)保健委員会・美化委員会活動の充実を図る。

(キ)教育相談室との連携強化を図る。

#### オ 農場部

(ア)人を大切にする行動習慣づくりと安全・安心な教育活動の推進。

(イ)生徒の基礎学力の向上と特色ある農業教育活動の展開およびキャリア教育の推進。  
と生徒一人ひとりの進路実現。

(ウ)産学官や地域との連携による「農業高校魅力化プロジェクト」の推進。

(エ)時代に対応した、農場整備計画の推進(GAP等へ対応)。

#### (7) 質疑応答と意見交換

##### 校長：

教務課で「百問繚乱」の話題が出た。採点システムのことで、導入することで教員の採点がかかり楽になる。普通科目であれば半分の手間で済む。静岡県は各学校の経営予算で購入しているが、岐阜県では県全体で購入し、入試にも活用している。最近では神奈川県でも導入を検討している。本校でも、ライセンス料は20万円程かかるが導入を検討している。生徒課であった校則の見直しについても生徒課長を中心に苦労している。生徒の意見を汲み取るという全国的な流れの中で、変えるところは変えていく。

##### 校長ホームページを掲示しながら：

昨日、バスケットB2リーグに昇格した、ベルテックス静岡の大石慎之介選手に来校してもらい、はごろも「夢」講演会を開催した。夢を叶えるためにということで、生徒にとって刺激のある良い話をしてもらった。後半はQ&Aで生徒たちの質問に答えてもらった。

昨年度、毎日記録賞を取った松岡君(本校卒業生)のブログです。圃場も、より一層整備もされ、地域の保育園と食育について交流をしている。大学1年生ながら頑張っている。今年度の体育大会から、クラスTシャツが復活した。生徒会やその顧問が中心になり、実現した。雨天で順延となったが、良い体育大会であった。

HPは、意見発表の校内大会や、科目「農業と環境」での栽培が始まった頃、新茶が作られる頃が記事になっている。

インスタグラムは、生徒たちが自分の研究などをアップロード・編集をしている。「ケイ素の研究」、「トマトの研究」、「生徒会がこんなクラスTシャツができた」などが記事として載っている。

##### 委員A：

高校生ぐらいになると、スマホでいろいろな発信をしたりする。スマホのリテラシーの面で、学校公式なものは別として、個人でのトラブルはないですか。

##### 校長：

予防策として、生徒対象にスマホ取り扱いの教室を開いている。「農業と情報」の授業では、メディアリテラシーと同時に、モラルやマナーにも組込んでいる。県の取り組みとしては、ネットパトロールという事業があって、学校関連の情報が送られてくる。「該当の生徒に対して注意喚起や指導をしていく」。限定されている中なので全部ではないが、うちの学校でも月に一人ぐらいは上がってくる。予防策が重要である。

##### 委員A：

すごく両面があって、今みたいに発信することで注目も集めやすい、それこそバズってそれから静農を知ってもらうということもある。すごく難しいです。活用もしたいけれど、しっかりと指導していくのが重要だと思う。静農は、ここ数年受験者数が減少し、不安はある。これは大学も抱えている同じような問題。パイを取りあっても仕方がない。でも人数は減っていく、少子化なので、そういったところで一緒に考えていけたらなと思っている。

##### 校長：

ブログでのアクセス数が増えることも両面がある。学校名が出て名を広めたいが、マイナス面もある。難しい問題である。

##### 委員B：

定員の確保、これは将来的に方針があるのか。

##### 校長：

学校づくりの部署が教育委員会にもあって、定員を何年間か満たしてないと来年度は減るということはある。専門学科は、それが常に当てはまらない場合もある。本校は、専門学科

であり、1クラス減らせと言われても学科があり難しい。1クラス減ると予算や教員数も減る。人が急に減らされると急激に学校の力が弱まる。

**委員B：**

大学の農学部は森林、いわゆる林産・林業という名称の学科があった。しかし、その名前を学科名として使っていくと受験者の確保が林業の担い手になるのじゃないかみたいなイメージとなり難しい。「生物資源」と「応用生物」という名称に変わっていく。中学生が農業高校を選ぶことは、親の理解がないと選ばないかもしれない。その中で今後どうやって受験生を確保したら良いのか、すごく難しい。静農受験の状況を見ると生産系が満たせてない。が、大学の農学部ではその分野は人気がある。かえって環境のほうがバランスが落ちてきている。ここのギャップが高校入学と、大学入学では生じている。良いアイデアはないが、少子化の中で、総合学科にすればいいかということではなく、静農は静岡県を中心校としてぜひ農業の名前を捨てずに行って欲しい。定員が減っていくという現状をしっかりと考えてやっていかなきゃいけない事も悩ましい。コンテストやインターハイで好成績を収めていて、良い材料もたくさんある。先生方がすごく熱心に教育している成果だと思う。また、指導して成績を収められるぐらいの生徒たちが集まっていることも実証できている。それは、この分野で良い教育をしているとアピールしたところで中学生に伝わるのか、すごい難しいと思っている。

**校長：**

最近保護者の意識・認識もだいぶ変わってきている。私立が以前に比べると、お金がかからなくなってきた。大きな私学は生徒が集まっている。その次にどこが来るかということ、広域通信制である。人間関係の煩わしさがあったり、保護者も子供のやりたいようにやりなさいという傾向がある。いろんなことが複雑に絡み合い、ゼロサムゲームとなってきている。

**委員C：**

私は、静農の卒業生。年の近い友達から、運営協議員をやっていると、うちの子が静農に入れないかと言われる。静農の卒業生は自分の子供を入れたがる。それは良いことだと思う。

**委員B：**

すごく魅力的な学校なので、この受験生を呼び込む策がないのかなと思う。

**校長：**

まさにその通り、悩ましい所だが、いろんなデータも分析してみたい。

**委員A：**

入学してくる新入生に、選んだ理由を、リサーチしたことがありますか。

**校長：**

まだない。

**委員A：**

それが例えば中学の先生からのプッシュなのか親からのプッシュなのか、友達、あるいはパンフレット、ホームページを見たのか。そういう経路をたどって、データベースを作り一度確認をして、なんか強いところがあったらそこに力をかけていくという手法があるのかなと思う。どういう所から情報を入手するかっていうのはすごく重要で、学校だけでなくデジタルの世代なので何か自分で調べている子もいるのかなとか、実は今のように親とか家族とか親戚とかそっちが強いんだったらその人脈でやっていくっていうのが一番手堅いのかもかもしれませんし、そういう意味でデータで見たい。

(8) まとめ、次回開催予定等

ア 令和5年度静岡県立静岡農業高等学校評議員会年間計画について

・第2回 11月18日(土) 学校祭公開日

・第3回 1月29日(月) か1月31日(水)

(9) 閉会の言葉